

堺市こころの健康センター所報

第 3 号

(平成20年度実績)

堺市こころの健康センター

はじめに

昨今の社会情勢を見渡しますと、高齢者の閉じこもり、人知れず亡くなる年間3万2千人におよぶ無縁死、平成10年から続く年間3万人以上の自殺、高齢者どうしの老老介護、認知症を患う夫婦での認認介護、高齢者・児童虐待、社会的ひきこもり、発達障害、ニート、そしてネットカフェ難民など、わが国が直面している問題を象徴するキーワードが、日々の情報の中に見つけることができます。こうした中、わが国の精神保健に関しても克服すべき問題が山積してきていることも例外ではなく、精神保健福祉の分野の役割がますます重要となってきました。

堺市こころの健康センターでは、平成20年10月から薬物依存専門相談と自死遺族専門相談を開設しました。違法薬物に関連した諸問題を解決するための相談と、自死で身内を亡くし、残された方々の精神面でのサポートを行うものです。今後も社会情勢を鑑み、従来からのひきこもり専門相談を含め対応を進めていきます。

先日、イギリスの保健省精神衛生部・部長 Dr. Louis Appleby が来日された際、講演に参加する機会がありました。イギリスでは精神保健の大改革が行われ、アウトリーチを充実させた結果、自殺死亡率が基準となる1995-1997年と比較して、2005年で15.2%減少したことを報告されました。自殺率を低下させることができた理由については明確な答えはないが、精神保健福祉全般について充実させたことがこの結果を導き出したと、話されました。

我々行政の立場として、限られた人的資源の中でどのようなサービスを社会に提供できるのかが日々の課題ですが、精神保健福祉センターとして、これまで担ってきた業務を確実に継続・発展させ、社会における「こころの健康」についての理解を深めていただき、さらには関係諸機関のご協力を得て、精神保健福祉の向上を進めていく所存です。今後も、皆様方のご理解、ご支援、そしてご協力を賜りますようお願い申し上げます

平成22年3月

堺市こころの健康センター
所長 森川将行

目次

はじめに

堺市こころの健康センターの概要

1 施設	1
2 組織と職員数	3

事業概要と業務実績

1 専門相談・診療事業	4
2 教育研修事業	7
3 普及啓発事業	11
4 技術支援事業	16
5 組織育成事業	18
6 精神医療審査会・自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定	19

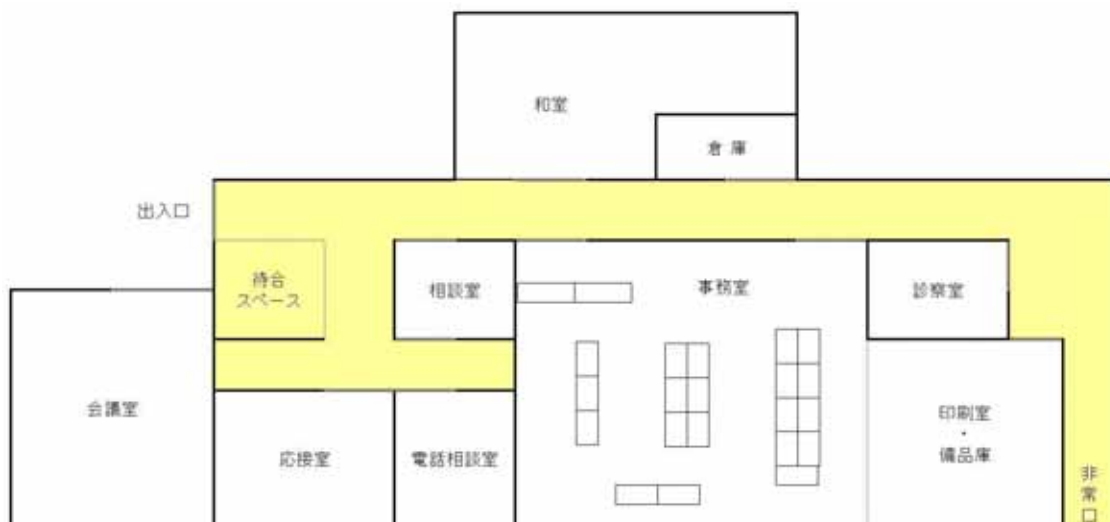
堺市こころの健康センターの概要

1 施設

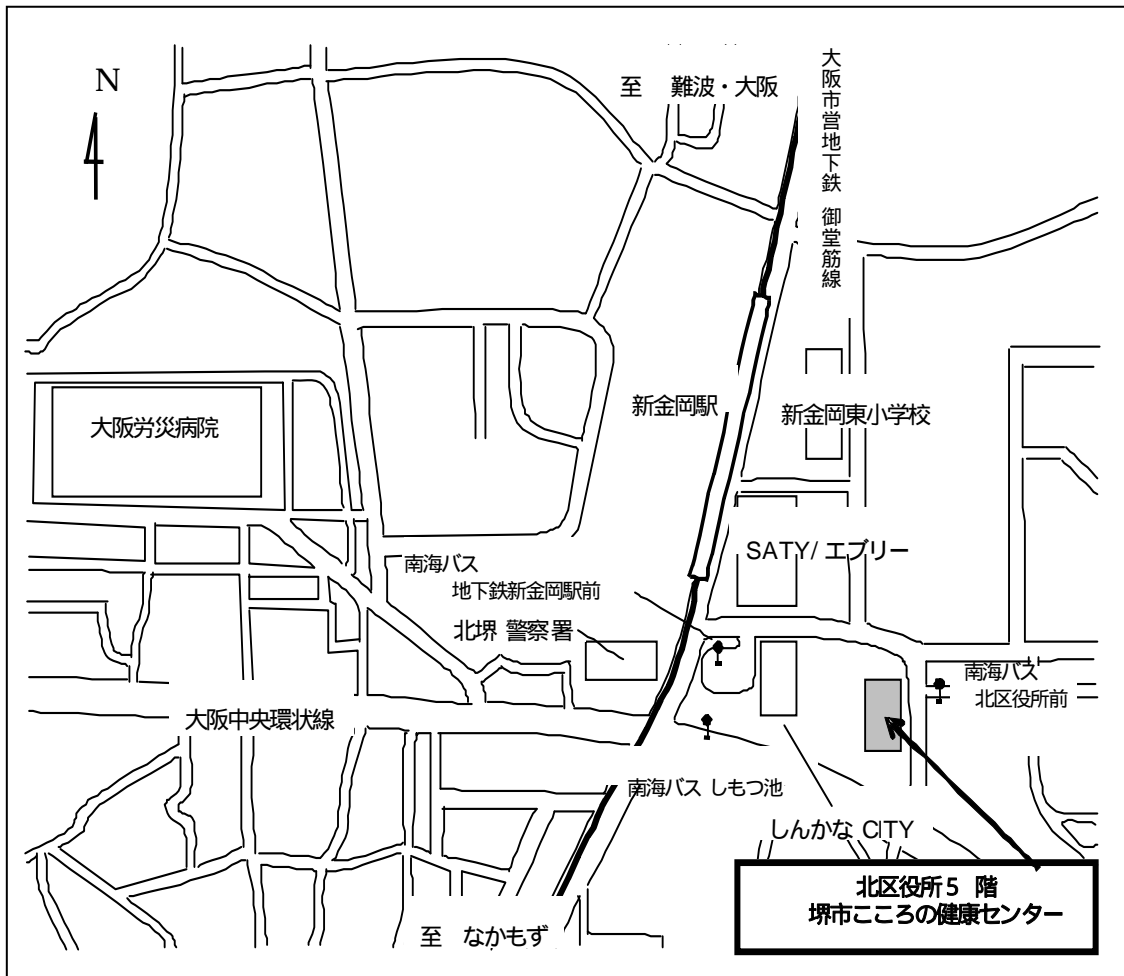
1 - 1 外観



1 - 2 平面図



1 - 3 所在地



〔住所〕〒591-8021 堺市北区新金岡町5-1-4 北区役所5階

〔電話〕072-258 6646 (代表)

072-258-6410 (こころの電話相談)

〔FAX〕072-258 6632

〔アクセス〕 地下鉄御堂筋線新金岡駅 2号出口 東へ200m

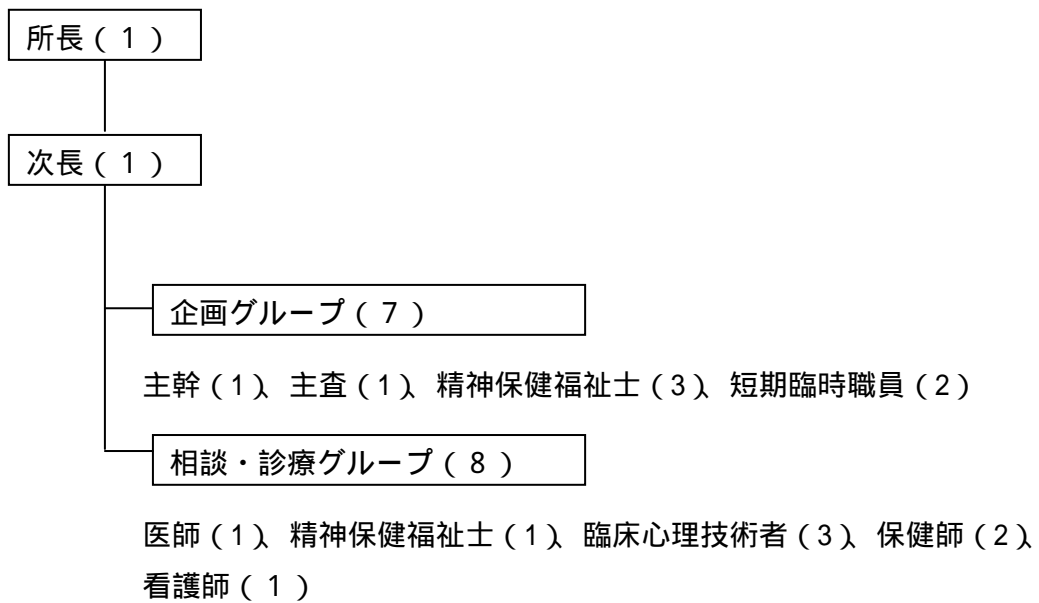
南海バス 北区役所前下車 徒歩1分

南海バス 地下鉄新金岡駅前下車 徒歩2分

南海バス しもつ池下車 徒歩4分

2 組織と職員数

2 - 1 組織（平成20年4月1日現在）



2 - 2 職種別職員数（平成20年4月1日現在）

	医師	精神保健福祉士	臨床心理技術者	保健師	看護師	事務職
所長・次長	1	1				
企画G		3 内非常勤職員1				4 内短期臨時職員2
相談・診療G	1	1	3 内非常勤職員1	2	1 内非常勤職員1	

電話相談員・・・4名（1日1名・当番制）

事業概要と業務実績

1 専門相談・診療事業

1 - 1 専門相談

精神保健及び精神障害者の福祉に関する相談及び指導のうち、複雑または困難な事例に対する相談業務を行った。

(表1) 専門相談事業 件数

		延べ件数	実件数
全体		2,458	319
再掲	ひきこもり専門相談	1,317	98
	薬物依存専門相談	17	3
	自死遺族専門相談	7	3

1) ひきこもり専門相談

ひきこもり状態にある本人及び関係者に対し、本人の孤立・深刻化等を防ぐために、個別の相談支援を行った。また、ひきこもりという状態像のため本人の来所が困難な場合は、個別の状況に応じて関係機関と連携し、家族や関係者の来所相談・本人への訪問相談を行った。対象は、おおむね15歳以上で、自宅以外での生活の場が失われている状態にあり、明らかな精神疾患の存在が認められない本人及び家族・関係者とした。また、集団活動を通して社会への不安の軽減、対人関係認識の向上を図ることを目的としてグループワーク活動を開催したほか、ひきこもりについての理解を深め、本人へのわかり方についての工夫を見出すために家族教室を開催した。(家族教室の実績は、5. 組織育成の表5に記載。)

(表1-1-1) グループワーク活動内容

回数	内容	回数	内容
第1回	お花見	第13回	ボランティア活動
第2回	調理(たこ焼き)	第14回	調理(カレー鍋)
第3回	卓球	第15回	卓球

第4回	日曜大工	第16回	創作活動
第5回	調理（クレープ）	第17回	調理（ケーキ）
第6回	バドミントン	第18回	調理（焼き芋）
第7回	調理（トルコ料理）	第19回	ソフトテニス
第8回	カードゲーム	第20回	ボランティア活動準備
第9回	卓球	第21回	ボランティア活動
第10回	調理（バーベキュー）	第22回	調理（オムライス）
第11回	創作活動	第23回	散歩
第12回	創作活動	第24回	創作活動

2) 薬物依存専門相談

覚せい剤、麻薬等の違法薬物の依存の問題で困っている本人及び家族等を対象に、個別の状況に応じた支援を関係機関との連携や精神科医等による相談（毎月1回定例実施）により行った。平成20年10月から実施。

3) 自死遺族専門相談

大切な人を自殺で亡くした遺族等を対象に、個別の状況に応じた心理カウンセリング（毎月1回定例実施）によるこころのケアを実施したほか、医療機関や遺族会等の情報提供を行った。平成20年10月から実施。

1-2 専門外来診療事業

公的医療機関として一般精神科では対応困難な、ひきこもりと高機能広汎性発達障害の特定外来診療を予約制で行った。

（表 1-2-1） 件数

	件数
延べ件数	31
実件数	15

（表 1-2-2） 診断名

診断（重複診断あり）	件数
広汎性発達障害	9
特定不能の広汎性発達障害	3
知的障害	1
強迫性障害	1
自閉症	1
解離性障害	1
その他	1

1 - 3 こころの電話相談

こころの病に対する偏見は依然として強く、適切な精神科医療機関及び相談機関に関する情報は充分ではない。電話の利便性の高さと匿名性を生かして、よりスムーズな医療・相談機関等の情報提供を行うとともに、精神障害者の生活相談に即応することを目的として、電話相談を実施した。

専用回線（1回線）により、専従の電話相談員（有資格者）が、土・日・祝日・年末年始を除く9:00～12:30、13:30～17:00の間、対応している。

また、電話相談における常連通話者（リピーター）や困難事例への対応の検討、及び相談技術の向上、社会資源の情報の更新等を目的に、電話相談員の連絡調整会議を年3回実施した。また、困難事例への対応等を目的に電話相談員へのスーパービジョンを16回実施した。

（表 1-3-1） 件数（相談日は 244 日）

	件数	日平均
全体	2,212	9.1
（内新規相談）	891(40%)	3.7
（内リピーター）	1,321(60%)	5.4

（表 1-3-2） 相談時間（分）

	件平均	最長
全体	17.3	140
新規	20.1	140
リピーター	15.4	112

（表 1-3-3） 電話相談

してきた人の内訳

相談者	件数	割合
本人	1,849	83.2%
家族	264	11.9%
関係者	38	1.7%
不明	70	3.2%

（表 1-3-4） 相談内容

内容	件数
老人精神保健	166
社会復帰に関すること	38
アルコール	10
薬物	4
思春期	68
心の健康づくり	1,255
その他	671

2 教育研修事業

2 - 1 新任者研修

精神保健福祉相談関係機関で相談業務に従事する原則1年未満の職員を対象に、精神障害に関する基礎的な知識と基本的な技術の習得を目的として研修を行った。

(表 2-1) 新任者研修 実施実績

実施日	内容	講師	参加人数
5月12日	地域における援助活動の実際	桃山学院大学 実習指導室長 重野 勉 氏	18
5月13日	精神疾患の基礎知識	こころの健康センター 医長 龍田 浩	20
5月14日	当事者と家族の思い	出前はあと 小林 ミチル 氏 堺のぞみの会 林 信子 氏	19
	保健センターにおける精神保健福祉相談員業務の実際	東保健センター 精神保健福祉相談員 片山 順也	
5月15日	精神障がい者の就労支援	就業・生活支援センター 山村 祥代 氏	21
	堺市における精神保健福祉の歴史	こころの健康センター 次長 小出 保廣	
5月16日	精神科病院における精神保健福祉相談業務の実際	阪南病院 リハビリテーション部長 平 則男 氏	16
	援助職のストレスケアについて	こころの健康センター 心理職 岩田光宏・真志田直希	

2 - 2 現任者研修

精神保健福祉相談関係機関で相談業務に従事する職員を対象に、精神障害に関する理解を深め支援の技術を向上させることを目的として研修を実施した。

(表 2-2) 現任者研修 実施実績

実施日	内容	講師	参加人数
10月28日	効果的な面接を行うために ～ロールプレイでの学び と気づき～	大阪府立大学 人間社会学部 准教授 山中 京子 氏	15
10月30日			15
10月31日			15
2月18日	いわゆる「対処困難事例」への 対応について	稲垣診療所 ケースワーカー 高部 美夫三 氏 こころの健康センター 精神保健福祉相談員 正徳 篤司	28
3月6日	こころの病に効く薬の話 ～精神科処方薬のなぜ・なに？～	こころの健康センター 医長 龍田 浩	20

2 - 3 相談員研修

保健センターの精神保健福祉相談員を対象に、ケースワーク技術の向上、相談員間の情報共有と連携を図るため、ディスカッション・ワークショップ的手法を取り入れた参加型研修を実施した。

(表 2-3) 相談員研修 実施実績

実施日	内容	参加人数
5月27日	定例相談について	延べ 127人
6月24日	訴えの初期対応について	
7月22日	アルコール相談におけるかかわりについて	
8月26日	社会資源について	

10月28日	医療保護入院等のための移送事業について	
11月25日	生活保護行政の現状・動向について	
1月27日	事例検討	
2月24日	各保健センターからの現場報告～エコマップを参考に～	
3月24日	今年度の研修振り返りと次年度の方向性について	

2 - 4 講師派遣研修

精神保健福祉関係機関や精神保健福祉に関心のある団体等からの要請により所内の専門職を派遣した。

(表 2-4) 講師派遣実績

実施日	対象	内容	講師	参加人数
6月12日	大阪障がい者能力開発校	ストレスを知ろう	医師	148
6月25日	発達障害者支援センター	成人期の相談について	精神保健福祉士	6
7月8日	委託相談支援事業所	精神障害者保健福祉の概論・堺市の歴史について	精神保健福祉士	27
9月11日	南保健センター	精神科薬物療法について	医師	15
10月3日	精神科病院医師	退院促進事業 ～堺市の場合～	精神保健福祉士	40
10月21日	居宅介護事業所・訪問看護ステーション	精神障害者を取り巻く日 ～堺市の動向について～	精神保健福祉士	25
11月8日	障害者支援施設	統合失調症の理解と支援について	精神保健福祉士	40

11月25日			精神保	15
12月15日	精神科病院職員	精神疾患と就労	健福祉	15
12月24日			士	20
12月18日	居宅介護事業所・訪問 看護ステーション	精神障害者の地域生活 を支えていくために	精神保 健福祉 士	43
合計(11回)				394

2 - 5 学生実習

精神保健福祉士養成機関の学生を、大阪府との調整により3校、6人を受け入れて、実習を各保健センターで行った。(オリエンテーションは大阪府と共同で実施)。また、医科大学生については、こころの健康センターで実習を行った。

(表 2-5) 学生実習受入実績

学校名	人数	日数	実習場所
桃山学院大学	3	18	堺 HC・南 HC・北 HC
大阪健康福祉専門学校	2	12	中 HC・西 HC
大阪人間科学大学	1	9	東 HC
奈良県立医科大学	4	2	こころの健康センター

3 普及啓発事業

3 - 1 精神保健福祉セミナー

広く市民に精神保健福祉に関する正しい知識の普及・啓発を行い、こころの健康についての関心を促すことによって、ノーマライゼーションの理念の実現を図り、こころ豊かなまちづくりを市民の側から進めるきっかけとすることを目的として企画開催した。企画・運営は、市内関係各機関で構成された実行委員会により実施した。

(表 3-1) 精神保健福祉セミナー開催実績

名称	第 15 回堺市精神保健福祉セミナー 『元気ですかあ！？ 1・2・3・アピール！ダー！！』
開催日	平成 20 年 11 月 29 日(土)
場所	美原中央公民館
主催	第 15 回堺市精神保健福祉セミナー実行委員会
内容	<ul style="list-style-type: none">・ 精神保健福祉に関する講演 「まちでいきいき暮らすために～精神障害者とのかわりから私が学んだこと～」 講師 菅野 治子 氏 (社会福祉法人朋志美会しののめハウス施設長)・ 精神障害のある当事者・家族中心の座談会 聞き手 河合 英紀 氏 (美原病院) 松井 香奈枝 氏 (こころの健康市民サポートセンター)・ 展示・体験コーナー パネル展示 視聴コーナー、 アルコールパッチテスト
参加者	約 200 人

3 - 2 ハッスル運動会(堺市精神障害者地域交流運動会)

堺市内の医療機関もしくは社会復帰施設等を利用する精神障害者やその家族、関係機関の職員及びボランティアを含めた市民等が相互に交流することにより、精神障害者へ

の理解を深め、精神障害者の社会参加を促進するとともに、地域のネットワークづくりの構築を推進することを目的として開催を企画したが、開催当日は雨天のため中止となった。実行委員会を4回開催した。

3 - 3 家族講演会

精神障害者の家族を対象に精神障害についての研修を行い、家族の不安を軽減するとともに、交流の機会を設け、孤立を防止することを目的として、開催した。

(表 3-3) 家族講演会実績

名称	精神障害者家族講演会
開催日	平成 20 年 10 月 2 日/10 月 16 日/11 月 20 日/11 月 27 日
場所	こころの健康センター
内容	講演「家族 SST セミナー～ご家族が対応のコツを身につける～」 講師 瀧本 優子 氏(梅花女子大学講師)
参加者	延べ 60 人

3 - 4 出前講座

堺市教育委員会が企画している「どこでもセミナー～堺市生涯学習まちづくり出前講座～」に「こころの健康講座～ストレスと上手につきあうコツ～」、「簡単うつ病講座～身近なうつ病、気づいていますか?～」の2つの講座メニューを登録し、こころの健康づくりに関する知識の普及・啓発を行った。

(表 3-4) 出前講座実績

内容	実施回数	参加人数
こころの健康講座～ストレスと上手につきあうコツ～	16	延べ 623 人
簡単うつ病講座～身近なうつ病、気づいていますか?～	6	延べ 118 人
合計	22	741

3 - 5 講師派遣

精神保健福祉関係機関、精神保健福祉に関心のある団体等からの要請により専門職を派遣した。

(表 3-5) 講師派遣実績

実施日	対象	内容	派遣講師	参加人数
4月4日 4月9日	堺市職員公務員基礎 研修	メンタルヘルスに ついて	医師	93 90
5月29日	関西福祉科学大学	保健所・保健セン ターにおける精神 保健業務と精神障 害者の支援	精神保健 福祉士	55
7月9日	堺市老人介護者家族 の会	うつ病について	医師	15
7月14日	北区民生委員・児童委 員	認知症と高齢者虐 待について	医師	70
7月28日	藍野大学保健師	堺市の精神保健福 祉業務とこころの 健康センターの業 務	精神保健 福祉士	6
8月7日	人権問題推進者養成 研修	精神障害の理解と 支援	精神保健 福祉士	35
8月22日	大阪精神保健福祉協会	精神保健福祉の価 値と歴史	精神保健 福祉士	65
9月17日	堺地区健康・快適職場推 進大会	勤労者のメンヘ ルヘルスケア ～アンケート調 査から見えてき たもの～	医師	100
9月18日	認知症キャラバンメイ ト養成研修	認知症を理解する	医師	85
10月11日	晴美台校区福祉委員会	精神障害の理解と 心のケアについて	精神保健 福祉士	32
11月13日	昭和電工職員	職場のメンタルヘ ルス	医師	200
11月17日	ケアマネ初期研修	ケア会議の持ち方	精神保健 福祉士	40

1月17日	こころの健康づくり講演会	働く人のメンタルヘルスケア ～アンケート調査からみえてきたもの～	医師	160
1月20日	中区高齢者安心ネットワーク研修	認知症を理解する	医師	70
1月25日	堺市障害者スポーツ指導者養成講習会	精神障害者保健福祉手帳の支援の対象となる主な障害	精神保健福祉士	24
1月30日	大家連精神保健福祉講座	保健所の当事者家族への支援～堺市の状況～	精神保健福祉士	80
2月16日	大阪府家庭児童相談室連絡協議会南ブロック研修会	職場のメンタルヘルス	医師	20
2月26日	堺市医師会かかりつけ医対象研修	身近なうつへの対応法	医師	74
3月13日	西日本の医療観察制度地域処遇推進者	医療観察制度における地域処遇推進のための支援研修	精神保健福祉士	83
3月27日	大阪日刊スポーツ管理者研修会	職場のメンタルヘルス1次予防	医師	30
合計(21回)				1,427

3 - 6 機関誌の発行

堺市こころの健康センター通信（機関誌、愛称『こころ さかい』）を年3回発行し、市内各区の図書館、区役所の市政情報コーナーなど市民が利用することの多い場所に配架した。

（表 3-6）「こころ さかい」発行実績

発行年月	通算	発行部数	主な内容
平成 20 年 6 月	第 7 号	1,200 部	労働者のメンタルヘルス
平成 20 年 11 月	第 8 号	2,000 部	労働者のメンタルヘルス（2）
平成 21 年 3 月	第 9 号	2,000 部	薬物依存について

3 - 7 啓発冊子の作成

精神的健康の増進、精神疾患に対する正しい知識の普及を目的として冊子を作成し、各区の保健センターへ配架した他、講演会、イベント等で配布した。

（表 3-7）啓発冊子発行実績

名称	発行部数
相談案内	1,000 部
障害福祉のしおり	1,500 部
ストレス	7,000 部
ひきこもりかな？	500 部
うつ病ってなに？	2,000 部

3 - 8 ホームページ

精神障害者に対する支援制度、利用可能な資源、精神疾患に関する知識、研修会、講演会等の開催情報など、こころの健康センターのホームページに掲載した。

URL: http://www.city.sakai.osaka.jp/city/info/_hoken/kokoroken.html

4 技術支援事業

4 - 1 関係機関への相談支援

市内各区の保健センター及びその他の相談機関が実施している精神保健相談業務に対して、技術支援を行った。地域相談事業の負担機関である保健センター相談業務に対しては、セカンドオピニオンの機能することで側面からの支援を行った。

(表 4 - 1) 相談の内容

内容	保健センター	その他の機関
老人精神保健	6	3
社会復帰	2	0
アルコール	4	1
薬物	1	0
その他	24	4
合計	37	8

4 - 2 事業への技術支援

精神障害者の福祉向上施策の推進のためには、関係機関との連携が不可欠なことから関係機関が実施・主催する連絡会議、ケース会議等に積極的に参加し、情報共有を図りながら、こころの健康センターの専門性を生かした技術支援・技術指導を行った。

(表 4 - 2) 技術支援・技術指導 実績

事業	実施主体	内容	回数
社会適応訓練事業	精神保健福祉課、 堺市障害者就業・ 生活センター	運営懇話会への出席、新規協力事業所の開拓及び調査、実務担当者会議への出席、研修会への協力	20
退院促進事業	障害福祉課	会議参加、精神保健福祉関係機関実務担当者会議参加、院内説明会への協力、パンフ作成協力	12

医療観察法関連事務	大阪保護観察所	会議参加、医療観察法勉強会	25
地域生活支援事業	障害福祉課	堺市障害者自立支援協議会及び各区障害者自立支援協議会への出席	92
堺市地域福祉権利擁護事業	社会福祉協議会	契約締結審査会への出席	4
自殺対策事業	精神保健福祉課	自殺対策連絡懇話会、庁内連絡会への出席	5
病院実地指導	精神保健福祉課	市内精神科病院の実地指導立会 い	5
合計			163

5 組織育成事業

市民の精神保健福祉の向上を図るために、地域住民による組織活動に対して支援を行ったほか、ひきこもり・発達障害者の家族交流会を企画し組織の育成を図った。

(表5) 組織育成事業 実績

対象	回数
堺のぞみの会(家族会)	12
ひきこもり家族交流会	6
広汎性発達障害者家族交流会	6

6 精神医療審査会・自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定

6 - 1 精神医療審査会

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、精神医療審査会事務局を設置し、精神医療審査会を開催している。合議体は2合議体で、平成20年度は合議体を24回開催した。

(表6-1-1) 審査委員内訳

委員	人数
精神保健指定 医	6 予備委員1名含む
弁護士	2
その他学識経 験者	3

(表6-1-2) 届出書類件数

届出書類	件数
医療保護入院者の入院届	1,910
医療保護入院者の定期病状報告書	930
措置入院者の定期病状報告書	6

(表6-1-3) 退院および処遇改善請求

	件数
請求電話架電数（延べ）	172
受理	50
年度内審査完了件数	28
取り下げ	16
要件消失	4
審査結果次年度繰越	2

(表6-1-4) 請求者の入院形態

入院形態	件数
措置入院	4
医療保護入院	26
任意入院	0

* 退院と処遇改善の同時請求は1件として計上

(表 6 - 1-5) 請求内容別審査結果

請求内容		審査結果				
		入院を 継続	入院形態 の変更	退院命令	処遇妥当	処遇改善
退院請求のみ	24	23	0	0		
退院請求と 処遇改善請求	5	0	4	0	0	0
処遇改善請求のみ	1				1	0

*20 年度中に審査結果が出たものを計上

6 - 2 自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定

1) 自立支援医療(精神通院)支給判定業務

自立支援医療(精神通院)支給にかかる診断書の判定業務を行った。

(表 6 - 2-1) 自立支援医療(精神通院)判定件数

判定	件数
承認	10,729
不承認	2
合計	10,731

2) 精神障害者保健福祉手帳判定業務

精神障害者保健福祉手帳の申請にかかる診断書の判定業務を行った。

(表 6 - 2-2) 精神障害者保健福祉手帳判定件数

判定	件数
承認	1,617
不承認	9
合計	1,626

堺市こころの健康センター所報 第3号(平成20年度実績)

編集・発行 堺市健康福祉局健康部こころの健康センター

〒591-8021 堺市北区新金岡町5-1-4 北区役所5階

TEL 072-258-6646 FAX 072-258-6632

堺市行政資料番号 1-H1-09-0364